

NPO法人「関西健康・医療学術連絡会」設立記念シンポジウム

医療と健康に貢献する人工知能

2016年**5月31**日(火)13:30-17:30

国立京都国際会館 アネックス1
(地下鉄烏丸線「国際会館」下車)

● 基調講演

末松 誠 (国立研究開発法人 日本医療研究開発機構 理事長)

「AMEDのミッション：Balkanizationの克服による研究開発の推進」

● 特別講演

本村陽一 (国立研究開発法人 産業技術総合研究所人工知能センター 副センター長)

「次世代人工知能技術研究と生活分野への応用 ～ AI for Life ～」

● 講演

森本 淳 (株式会社国際電気通信基礎技術研究所)

「健康・医療と人工知能に関するATRの取り組み」

松田文彦 (京都大学ゲノムセンター教授)

「ゲノムコホートとバイオインフォマティクス」

坂田恒昭 (塩野義製薬株式会社)

「医療ビッグデータに対する製薬産業からの期待」

奥野恭史 (京都大学教授)

「Precision Medicineを目指した医療ビッグデータ解析とシミュレーション創薬」

是川幸士 (日本電信電話株式会社)

「医療・健康×ICT」

伊藤 渡 (富士フィルム株式会社)

「AI技術による3D画像解析——診断及び治療支援」 (講演順)

参加
無料

参加登録は [関西健康・医療学術連絡会](#) [検索](#) または FAX: **075(705)2496**

*シンポジウム終了後、名刺交換会(会費制)を行ないます。

主催 関西健康・医療創生会議 / NPO法人関西健康・医療学術連絡会
議長・理事長 井村裕夫 (京都大学名誉教授・関西広域連合顧問)